

第6期 恵庭市総合計画基本構想 概要



●将来都市像

未来をひらく つながり広がる 文化創造都市
～笑顔咲く 暮らし彩る ガーデンシティ～

総合計画とは、恵庭市がどのようなまちを目指すのか、そのためにどのようなまちづくりを進めていくのかをあらわした市の最上位計画です。この計画は「恵庭市まちづくり基本条例」の理念に基づき、多くの市民参加により作られました。

～将来都市像に込めた思い～
 「花のまちづくり」や「読書のまちづくり」など、市民と築いた文化を大切にしながら、新たな時代にも対応し、魅力あるまちづくりを進めています。人と人のつながりを育み、交流と創造性が広がる文化創造都市を目指します。
 自然や花に囲まれた美しい環境で、安心して暮らせるまちを育ててきました。多様なライフスタイルを尊重し、訪れる人にも魅力ある、水と緑、花に囲まれた彩り豊かなガーデンシティを目指します。

●都市ビジョン

私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。新たな時代の変化に対応し、将来都市像を実現するため、次の3つの都市ビジョンを掲げ、取組を推進します。

(1) 活力と魅力あふれる創造都市
 市民・事業者・行政が連携し、「花のまちづくり」などの市民主体の活動や官民協働による先進的な取組を進めてきました。新たに、スポーツや芸術など多様な交流の場を生み出し、人と人が出会い、アイデアが交差することで、新たな文化と地域資源を育み、活力と魅力あふれる創造都市を目指します。

(2) 安心して暮らせる包摂都市
 ※ 誰もが自分らしく、地域とつながりながら安心して暮らせるよう、見守り体制の強化や孤立防止、相談体制の充実を進めています。国籍や文化を問わず多様な人々が支え合い、地域の一員として活躍できる環境づくりと、防災・生活基盤の整備により、安全・安心で快適な暮らしを支える、包摂都市を目指します。

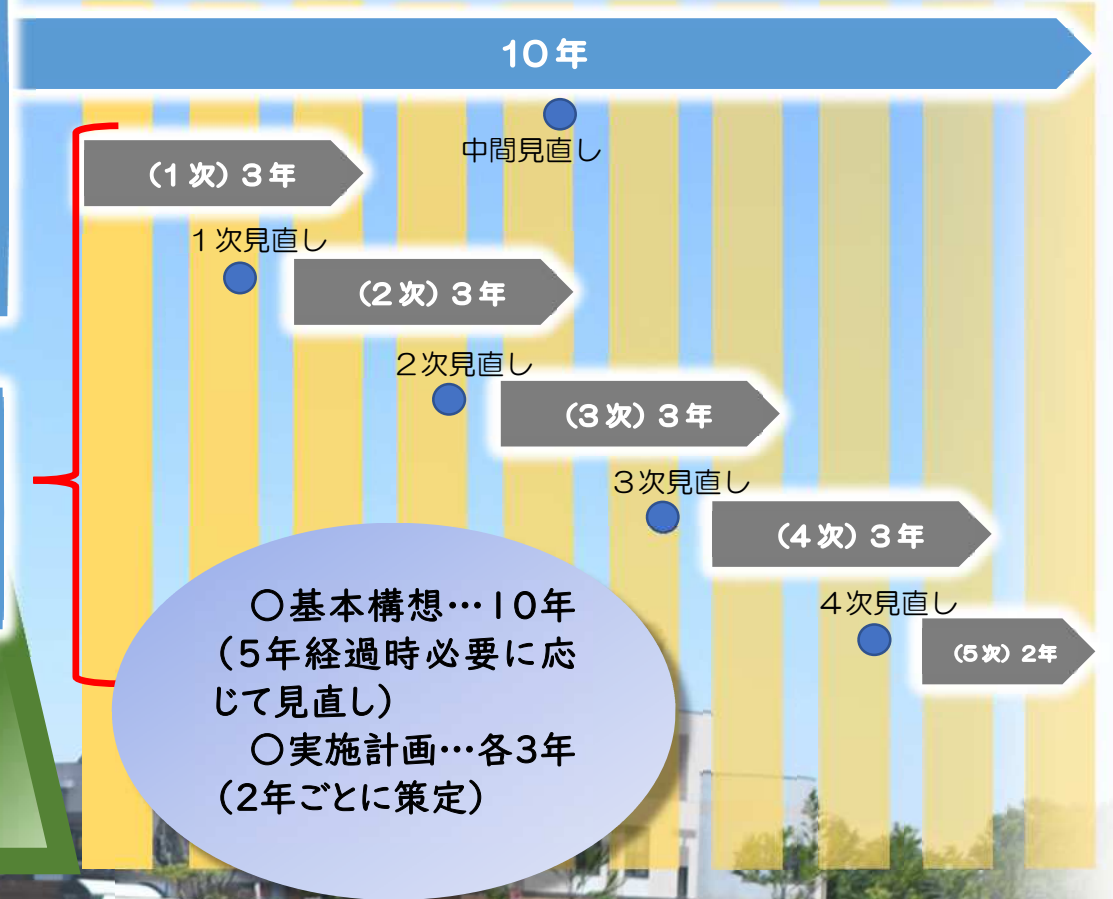
(3) 学びが循環し未来を育む共育(きょういく)都市
 誰もが学び続け、地域と関わりながら成長し合える社会を目指し、「読書のまちづくり」や市民講座など学びの場を育ててきました。世代や立場を超えて支え合いながら、地域の課題解決に向けて学びが行動につながる循環を生み出し、学びが未来を育む共育都市を目指します。

※包摂都市：年齢・性別・障がいの有無・国籍・経済的な状況などに関係なく、すべての人が安心して暮らし、参加できるまちのこと。

総合計画

基本構想
 将来都市像と都市ビジョン、目指すまちの姿、実現に向けた基本的な方向性、施策等

実施計画
 具体的な取組の方向・事業の内容



将来都市像「未来をひらくつながり広がる文化創造都市」
笑顔咲く暮らし彩るガーデンシティ

都市ビジョン

- 活力と魅力あふれる創造都市
- 安心して暮らせる包摂都市
- 学びが循環し未来を育む共育都市

